

iP-65S/65B 操作パネルの説明

iP-65S/65Bご使用上の注意

投映の際は、**必ずレンズキャップを外して**下さい。

ダイレクトパワーオフ機能(1)使用時は、**必ず電源ボタンを2度押し、ランプが消えてから**電源コードを抜いて下さい。また、ケース等にしまう場合は必ず完全にファンが止まってからしまして下さい。

付属のUSBケーブル(iP-65Sのみに付属)を取り外す際は、必ず**PC及びプロジェクタ本体の電源OFF後、またはPCで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから**取り外して下さい。

ランプ交換の際は**スタンバイ状態**(2)にて、**ランプ使用時間のリセット操作**を必ず行って下さい。

また、エアフィルタは**定期的(1日4時間ご使用で、1ヶ月に1回程度)**に清掃して下さい。

(1)ダイレクトパワーオフ機能:電源OFF(ランプ消灯)後、すぐにコンセントを抜ける機能。

(2)スタンバイ状態:コンセントを入れ、「オン/スタンバイ」LEDが赤点灯(投映ランプ非点灯)の状態。



名称	説明
オン/スタンバイ	スタンバイ時は赤、投映中は緑に点灯します。取説26ページ
ランプ/カバー	投映中は緑点灯、エアフィルタ又はランプカバーが外れていると赤点灯します。 ・ランプ時間が1400時間を超えると赤点滅、1500時間を超えると赤点灯します。 1500時間になったら、ランプ交換(型番:iPLK-H1)して下さい。取説51~53ページ
温度	内部温度が上がりがすぎた時、10秒間の赤点滅後、赤点灯します。取説49ページ
電源	本機の電源を入/切します。取説26ページ
切替	入力モード(OHP、PC、ビデオ)を切り替えます。取説28ページ
回転/データ転送	(回転)投映画面の向きを右に90°ずつ回転します。(OHPモード時のみ有効) (データ転送)OHPモード時はPCモードにしてから、PCモード時は一度押しと、本体内蔵メモリ資料をPCに転送します。 () Pビューアー起動時のみ有効です(P-65Sのみ)。 () SDカード装着時(P-65Sのみ)はPCに転送できません。取説28、31、36ページ
明るさ	投映画面の明るさを調整します。取説30ページ
スクロール	メニュー内の項目の選択、調整値の設定をします。ズーム時はズーム位置を移動します。ポインタ表示時はポインタを移動します。 取説29、30、32、34、35、37ページ
解除	静止画状態を解除します。本体に載せた原稿を、ほぼリアルタイムで確認できます。取説31ページ
静止画/取込	投映画面を静止させます。OHPモード時は、履歴画像として内部メモリに、SDカード(P-65Sのみ)挿入時はSDカードに保存されます。 取説31ページ
ズーム	投映画面の拡大、縮小を行います。取説31ページ

【 P-65SのSDカードを使うと・・・】

SDカード(標準添付・1GB)

iP-65S本体に載せた紙資料等を保存したり **デジカメ写真やパワーポイント資料等を保存**

(1)して**PCレスプレゼン**が可能です。(1)専用ツール(iP Viewer Tool、弊社HPよりダウンロードできます)での変換が必要。

(2)SDカードは**必ず弊社純正のもの**をお使い下さい(純正品以外は動作保証外です)。

「静止画/取込」を押す

原稿カバー(開く側)

SDカード挿入時:資料がSDカードに保存されます

[iP-65S・SDカードスロット部]

SDカード非挿入時:資料が本体内蔵メモリに保存されます

SDカード内資料の読み出し方(iP-65Sのみ)

リモコンの「OHP履歴」を押す

SDカード挿入時:SDカードに保存された資料がサムネイル表示

SDカード非挿入時:本体内蔵メモリ資料がサムネイル表示

SDカードご使用上の注意

本体でフォーマットしてからお使い下さい。抜き差しは**OHPモード**で行って下さい。

* PCの音声をiP-65のスピーカーから出力する時は・・・

ステレオミニジャックのオーディオケーブルをお客様にてご用意下さい。(弊社ではお取り扱いしておりません)接続時は、お使いのPCの音声出力端子と、iP-65の「PC AUDIO IN1」端子または「PC AUDIO IN2」端子をケーブルで繋いで下さい。

*接続時は映像と音声の入力を一致させて下さい。(映像をPCIに接続時は、音声もPCIに入力して下さい)

ステレオミニジャックの
オーディオケーブル

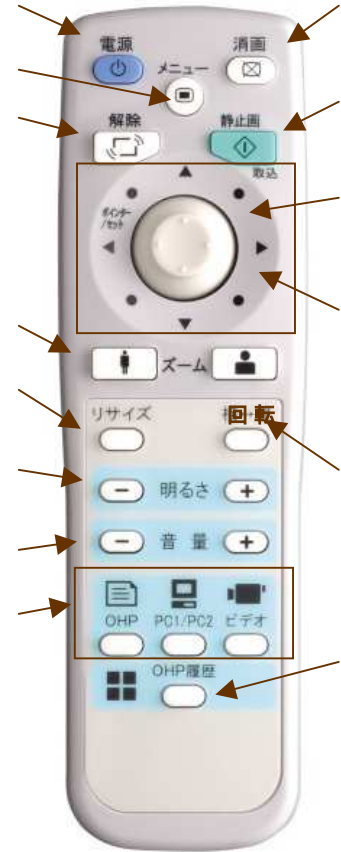


iP-65S/65B リモコンの説明

リモコンの操作について

リモコンは、本体のリモコン受光部(前後にあります)から約7M、左10°/右10°の範囲内でご使用下さい。
ただし、電池の消耗により距離は短くなります。
受光部が汚れていたり、リモコンと受光部との間に障害物があるとリモコンは動作しません。

名称	説明
電源	本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。 取説26ページ
メニュー	メニュー画面の表示/非表示を行います。 取説40ページ
解除	静止画状態を解除します。原稿台に載せた資料を、 ほぼリアルタイムで投映したい時に使用します。 取説31ページ
ズーム	投映画面の倍率調整を行います。取説29ページ
リサイズ	(OHPモード時)表示画面のサイズを変更する時に押します。 (PCモード時)自動で同期調整を行います。
明るさ	投映画面の明るさ調整を行います。取説30ページ
音量	PC、ビデオモード時に音量調整を行います。取説36ページ
入力切替 (OHP、PC、ビデオ)	各モード(OHP、PC、ビデオ)に切り替えます。取説28ページ
消画	ランプを消灯せずに、投映画面を一時的に消します。 もう一度押すと、画面が復帰します。取説37ページ
静止画/取込	投映画面が静止画となります。OHPモード時は、履歴画像として内部メモリに保存されます。SDカード(P-65Sのみ) 挿入時はSDカードに保存されます。取説31ページ
スクロール	メニュー画面で、項目選択や調整値設定をします。 ズーム時は、ズーム位置を移動します。ポインタ表示時は、 ポインタを移動します。
ポインタ/セット	(ポインタ)メニュー非表示時、ポインタを表示します。 1回押すごとに、表示/非表示を切り替えます。 (セット)メニュー画面で、項目決定を行います
回転 OHPモード時のみ有効	投映画面の向きを右に90°ごとに切り替えます(最大360°)。 取説28ページ
OHP履歴	「静止画/取込」ボタンで本体内部メモリまたは、 SDカードに取り込んだ資料をサムネイル表示します。 取説32ページ



【台形補正(キーストン)設定方法】 取説41～41ページ

台形補正は、リモコンでのみ設定可能です。また、自動調整機能はiP-65Sのみの機能です。

<メニュー画面> リモコンの「メニュー」を押す <キーストン調整画面>



設置設定
タブを選択。
キーストン
を選択。



「マニュアル」or「自動調整」選択

<マニュアル調整>

スクロール(左右)ボタンで調整。

<自動調整>

「ON」選択で垂直±35°の範囲
で自動調整します。

「メニュー」を押してセット完了。

パソコンの映像が投映されない時

PCを再起動するか、PCの映像出力設定を行って下さい。取説23ページ

詳細はお使いのPCの取説をご覧ください。



—お問い合わせ先— 日本アビオニクス(株) プロジェクタ営業部 TEL 03-5436-0622

またはカスタマーサポートセンター 0120-175-411(フリーダイヤル) (月～金)9時～12時/13時～17時 まで。